

目次

- 1面 創立70周年を迎えて、市P協10年のあゆみ
市P協の組織と役割
- 2面 市P協70周年記念特集 PTA活動のあゆみ
中学校完全給食から学ぶもの
- 3面 事例研修会/会員研修会、平成30年度 優良PTA表彰報告
- 4面 平成30年度食育推進コンテスト表彰式、市P協
パレール大会

市P協かわさき

発行者 川崎市PTA連絡協議会
 会長 山本 勇樹
 編集 市P協広報委員会
 事務局 川崎市川崎区富士見2-1-3
 ☎ 044-210-0072
 FAX 044-210-0073
 市P協HP <http://www.pta-kawasaki.jp/>
 印刷所 有限会社 協立印刷社
 ☎ 044-222-4205

創立70周年を迎えて

川崎市PTA連絡協議会会長 山本 勇樹



山本 勇樹 会長

川崎市PTA連絡協議会は、創立70周年を迎えました。

この間、各単位PTA・各区PTA協議会の現役の皆様と諸先輩方のご尽力、川崎市・川崎市教育委員会・学校関係各位はもとより地域の諸団体や関係機関の皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。

市P協で要望を始めて8年目、平成29年12月に全市の中学校で完全給食がスタートしました。温かいものは温かく冷たいものは冷たいまま、子どもたちが食べることができるようになりました。私も試食する機会がありましたが、温かくおいしい給食でした。

また、「いじめ」についても、様々な対応を図るものも、収束することなく続いています。近年では、「子どもの貧困問題」も取り沙汰されるようになり、残念なことに保護者による虐待も高い頻度で発生しています。

多くの皆様はPTAは、子どもたちのための活動だと言われます。勿論、間違いではありません。教職員の皆様と共に子どもの健全育成を願い、様々な活動をしていきます。

今回の市P協かわさきは、創立70周年の記念誌に記載された内容の一部を掲載しました。

市P協で要望を始めて8年目、平成29年12月に全市の中学校で完全給食がスタートしました。温かいものは温かく冷たいものは冷たいまま、子どもたちが食べることができるようになりました。私も試食する機会がありましたが、温かくおいしい給食でした。

これは正にPTA活動であり、様々な事業や研修の機会を捉えて真剣に取り組み、一人でも多くの人に正しい情報を知ってもらい知識を身に付けていただく必要があります。

保護者も子どもと共に成長し、ゆくゆくは地域の一員として地域の教育力を高めていくことが、子どもたちを取り巻く環境改善に繋がるとも思います。

これから市P協は、会員の皆様に必要な情報提供や情報交換・共有の機会の創出に努めていきます。

市P協10年のあゆみ

活動の概観

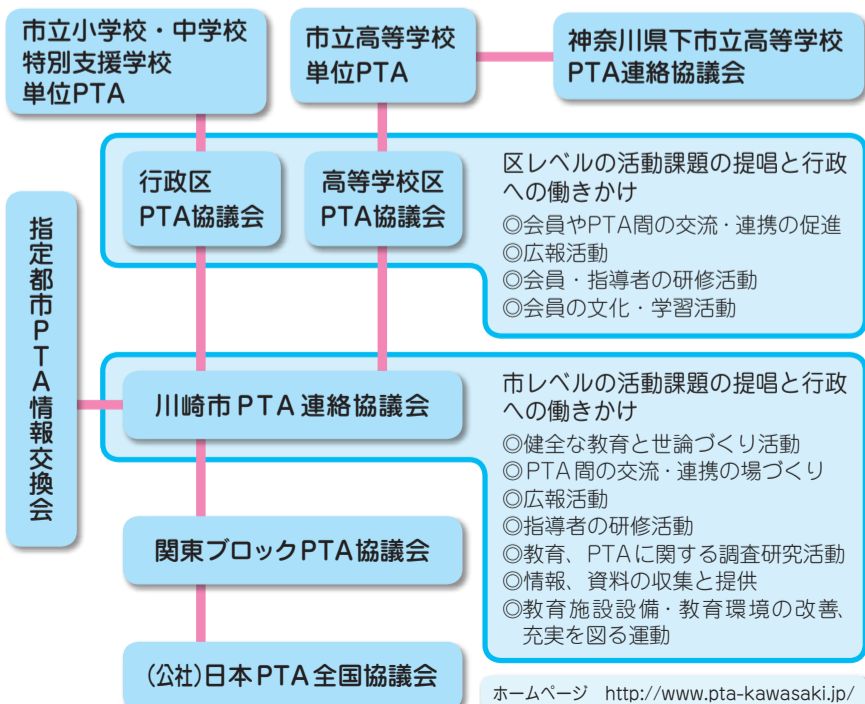
平成21年度からの5年間は、中学校完全給食の早期実現を求め、食育に関する研修や陳情署名活動を実施しました。また東日本大震災が発生した平成23年3月以降、2年にわたり災害義援金活動をおこないました。多くの皆様のご協力をいただき活動の充実を図ってきました10年でした。

子どもたちのためにPTAとして何ができるか、何をすべきか、これからは皆さんと力を合わせながら活動をすすめていきます。

活動のあゆみ

年度	川崎市PTA連絡協議会 10年間のあゆみ
平成21年	・「生活習慣改善事業・食育推進コンテスト」を実施(以降継続) ・北九州市中学校給食視察(親子方式)/北九州市立八見小学校・八見中学校/北九州市教育委員会協力 ・保護者へ中学校給食に関するアンケート実施 ・携帯電話に関する保護者向け啓発リーフレット作成し全世帯に配布 ・王禅寺中央小学校開校(平成21年3月、白山小学校、王禅寺小学校 閉校) ・はるひ野小中学校PTA発足
平成22年	・PTA総合補償制度開始 ・第5回日本食育学会学術大会にて食育実践活動報告「PTA・行政・企業と連携した食育推進」を発表 ・いじめ防止標語コンテスト実施(以降継続事業) ・理事研修会「かわさき共生*共育プログラム」について(東京聖栄大学教授:岡田 弘氏)実施
平成23年	・こども24時間総合保障制度開始(平成23年4月より) ・第67回指定都市情報交換会川崎大会開催 ・保護者から見た「子どもの生活習慣アンケート」を実施(市立小学校5学年の保護者・中学校2学年の保護者各校10名程度、約1700名) ・保護者向け「放射線研修会」を各区にて開催 「原発事故と放射能問題」～子どもを持つ親として知っておくべきこと～ (聖マリアンナ医科大学 放射線医学教授 大学院放射線診療部長 中島康雄氏)/川崎市教育委員会協力 ・東日本震災義援金(日本ユニセフへ958,388円/24PTA協力)実施
平成24年	・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進かから文部科学大臣表彰受賞 ・川崎市立中学校の完全給食実施に関する陳情署名を川崎市議会に提出(22,493筆) ・単位PTA役員向けPTAハンドブック作成(川崎市教育委員会協力) ・日本PTA心のさざなみ61キャンペーン協力 (日P主催・東日本大震災支援活動1,197,194円/55PTA協力)
平成25年	・名古屋市立浄心中学校スクールランチ視察(名古屋市教育委員会協力) ・千葉市新港給食センター及び、千葉市立幸町第二中学校視察(千葉市教育委員会協力) ・災害視察(蒲生・荒浜・関上地区視察及び、仙台市教育委員会、仙台市PTA協議会との懇談)実施 ・文部科学省委託事業「ネットモラルキャラバン隊」開催(受託/株式会社情報通信総研) ・川崎市立中学校の完全給食実施に関する陳情採択(市議会総務委員会にて、全会一致で趣旨採択)
平成26年	・中学校完全給食実施に向けた関係機関会議への出席協力 ・市長との懇談(市P協役員・各区協議会長・事務局)
平成27年	・保護者向け、インターネット利用リテラシーテスト「安心協ILASテスト」実施 ・市長との懇談(市P協役員・各区協議会長・事務局)
平成28年	・個人情報取扱規則の検討及び施行 ・いじめ防止標語コンテストにて文部科学大臣賞受賞(宮前中学校3年/「いじめゼロ」標語で終わるな 実行へ) ・新入生保護者に向けたインターネット安全利用啓発リーフレット発行
平成29年	・川崎市立商業高等学校が幸高等学校に校名変更(平成29年4月) ・個人情報保護法理事研修会開催 ・ICT学習会を、文部科学省委託事業「ネットモラルキャラバン隊」として開催(受託/株式会社メディア開発総研) ・中学校給食実施に伴う広報紙「市P協かわさき」臨時号の発行 ・市Pにおける主催・共催・後援・協賛の取扱規則検討
平成30年	・川崎市PTA連絡協議会創立70周年記念事業実施 ・PTA任意加入について市P協の方針を検討 ・全市会長研修会開催(予定)

組織と事業



市P協(川崎市PTA連絡協議会)の組織や活動は、次のようになっています。

目的

- 1 川崎市公立学校PTA相互の連絡を密にし、本市PTAの健全な発展を図る。
- 2 PTAの民主的な運営について研究し、その普及につとめる。
- 3 家庭、学校および地域社会における教育の振興に寄与する。
- 4 PTA活動中における事故に関し必要な給付事業を行う。(見舞金給付事業)

各区PTA協議会単位PTA数一覧

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	合計
小学校PTA	20	14	17	11	21	14	15	112
中学校PTA	10	5	8	5	8	7	7	50
小中学校PTA	0	0	0	0	0	0	1	1
特別支援学校PTA	1	0	ろう1	中央支援1	0	0	0	3
合計	31	19	26	17	29	21	23	166
高等学校PTA	1	2	1	1	0	0	0	5
全市合計	171							

市P協の組織と役割